

授業科目名	応用体育器械運動 (秋)
科目番号	2208233
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	金谷 麻理子
授業概要	主にトランポリンを用いて、「動きのコントロール」をテーマに、各自の能力にあった技能の習得と運動の理解を目指す。
備考	男女別要素 (接触) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。 (1) 器械・器具の特性を理解し、適切に利用できる。 (2) トランポリンの基礎的な演技ができる。(自身の技能にあわせて技を選択する。) (3) 仲間と協力しながら安全にペアワークおよびグループワークができる。 (4) トランポリンを通して、運動観察能力を身につけ、活用できる。
授業計画	第 1 週トランポリン (基礎技能チェック) 第 2 週トランポリン (基礎技の組み合わせ) 第 3 週トランポリン (発展技の組み合わせ) 第 4 週トランポリン (基礎技の連続) 第 5 週トランポリン (発展技の連続) 第 6 週トランポリン (高度な技の連続) 第 7 週トランポリン (基礎技で構成された演技) 第 8 週トランポリン (発展技で構成された演技) 第 9 週トランポリン (技能チェック) 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	1 技能 35% 2 知識・理解 30% 3 態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等 (連絡先含む)	火曜 11:30~12:10 中央体育館体操競技場
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	

他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育剣道 (秋)
科目番号	2211273
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	鍋山 隆弘
授業概要	剣道具をつけ、相手と駆け引きができる技術を身につけることを目標とし、心身の向上も目指す。
備考	男女別要素 (用具) 男女別要素 (接触) 男女別要素 (特別ルール・ペア/チーム分け) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。
授業計画	第 1 週 剣道着・袴の着装 第 2 週 剣道具の着装と打ち方, 打たせ方 第 3 週 打ち込み 第 4 週 つばぜり合いと引き技 第 5 週 返し技, 抜き技 第 6 週 互角稽古 第 7 週 互角稽古 第 8 週 互角稽古 第 9 週 まとめ 第 10 週 講義 第 11 週 予備日
履修条件	
成績評価方法	技能 35%、知識・理解 30%、態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	剣道指導要領
オフィスアワー等 (連絡先含む)	研究室 B-413 nabeyama.takahiro.gn@u.tsukuba.ac.jp
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	欠席すると対峙する相手に迷惑がかかるので出席を心がけること

他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育ゴルフ (秋)
科目番号	2212253
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	白木 仁
授業概要	ゴルフの基本技術を発展させ、ミニコースの実践を通してルール、マナー、パートナーシップ、スポーツマンシップを習得する。また、秋学期中には、近郊ゴルフコースにて集中授業を行う。
備考	経費 打撃場約 ¥1,000 コース約 ¥3,500 G 科目 クラブは、身長に合わせたクラブを選択してもらう
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	<p>運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。</p> <p>(1) ゴルフの基本動作 (グリップ、アドレス) を正確に行える。7 番アイアンによるスイングが実践できる。</p> <p>(2) 7 番アイアンを用いて穴あきボールにてフルスイングが実践できる。</p> <p>(3) 7 番アイアンを用いてレンジボールにてフルスイングが実践できる。</p> <p>(4) ピッチングウェッジを用いて 10 ヤードから 20 ヤードのアプローチショットが実践できる。</p> <p>(5) ピッチングウェッジを用いて 30 ヤードのアプローチショットが実践できる。</p> <p>(6) パターを用いて 1 メートルから 3 メートルの距離を打ち分けることができる。</p> <p>(7) ピッチングウェッジを用いてミニコースをラウンドできる。</p> <p>(8) 近郊練習場にて、7 番アイアン、ピッチングウェッジを用いて飛距離の打ち分けができる。</p> <p>(9) ゴルフコースにて、7 番アイアン、ピッチングウェッジ、パターを用いてラウンドできる。</p> <p>(10) 講義を通して、生涯スポーツの意義を理解する。</p>

授業計画	<p>第1週 7番アイアンを用いて、スイングの基本(グリップ、アドレス)の復習とフルスイングの確認</p> <p>第2週 7番アイアンを用いて、穴あきボールによるフルスイングの実践</p> <p>第3週 7番アイアンを用いて、レンジボールによるフルスイングの実践</p> <p>第4週 ピッチングウェッジを用いて 10 ヤードから 20 ヤードのアプローチスイングの実践</p> <p>第5週 ピッチングウェッジを用いて 30 ヤードのアプローチスイングの実践</p> <p>第6週 パターを用いて 1メートルから 3メートルの距離の打ち分けの実践</p> <p>第7週 ピッチングウェッジを用いてミニコースのラウンド実践</p> <p>第8週 近郊練習場にて、7番アイアン、ピッチングウェッジを用いて飛距離の打ち分け実践</p> <p>第9週 ゴルフコースにて、7番アイアン、ピッチングウェッジ、パターを用いてラウンド実践</p> <p>第10週 講義</p> <p>第11週 予備日</p>
履修条件	
成績評価方法	1 技能 35% 2 知識・理解 30% 3 態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	”テレビでのゴルフ試合観戦。 新聞や雑誌のゴルフに関する記事の閲読。” 印刷した資料を配布する
オフィスアワー等(連絡先含む)	オフィスアワー:木曜日(14:00~19:00) オフィス:総合研究棟 D - 621 shiraki.hitoshi.fw at u.tsukuba.ac.jp
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	クラブは、身長に合わせたクラブを選択してもらう。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育サッカー (秋)
科目番号	2213273
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	成瀬 和弥
授業概要	様々なゲームを通して基本的な戦術、ポジションプレーを理解し、集団行動・フォーメーションを成熟させていく。
備考	男女別要素 (接触) 男女別要素 (特別ルール・ペア/チーム分け) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	・スポーツ文化の理解
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。
授業計画	サッカー (フットボール) は世界共通の文化である。本授業では、初心者でも十分に楽しめるよう配慮しながら、ゲームを中心に行い、サッカーの深遠な魅力を体感する。 第 1 週目的に合わせたゲーム形式の練習を行う:シュート 第 2 週目的に合わせたゲーム形式の練習を行う:パス 第 3 週目的に合わせたゲーム形式の練習を行う:ポジショニング 第 4 週目的に合わせたゲーム形式の練習を行う:チームの長所を生かした戦術 第 5 週リーグ戦 1(試合の運営方法) 第 6 週リーグ戦 2 第 7 週リーグ戦 3 第 8 週リーグ戦 4 第 9 週講義 第 10 週リーグ戦 5 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	1 技能 35% 2 知識・理解 30% 3 態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	授業時に関連する資料を配布する。
オフィスアワー等 (連絡先含む)	
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	天候に合わせたウェアを着用すること。

他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ



授業科目名	応用体育シューティングスポーツ (秋)
科目番号	2214273
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	嵯峨 寿
授業概要	弓道を定期的に継続実施することで、運動の生活習慣化を図ると共に、スポーツの文化的、社会的、倫理的価値や精神的効果について理解を深めます。
備考	アーチェリーは左利きの用具がありますが、弓道は全員が右です。いずれも屋外で行う授業です。 G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	・スポーツ文化の理解
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。
授業計画	春学期はアーチェリー、秋学期は和弓を行う。いずれも初心者を対象とした内容のため経験者には物足りないことを予めご承知下さい。 第 1 週オリエンテーション 第 2 週安全のための注意と正しい用具の取り扱い方など 第 3 週角見のはたらきを理解する 第 4 週射法習得 (矢番～足踏～胴造まで) 第 5 週馬手の正しい使い方を習得する (取懸) 第 6 週弓手の正しい使い方を習得する (手の内) 第 7 週弓構え、打起こし、三分の二、残身 第 8 週狙いの付け方を習得する 第 9 週講義 第 10 週実技検定を兼ね競技会を行う 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	1 技能 35% 2 知識・理解 30% 3 態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	授業の進行に応じ適宜紹介する。
オフィスアワー等 (連絡先含む)	適時対応するが、事前に電話 029(853)2629 またはメール <a href="mailto:saga.hitoshi.fu@u.tsukuba.ac.jp">saga.hitoshi.fu@u.tsukuba.ac.jp</a> に連絡して在室を確認の上、研究室 (体育科学系 B 棟 504) まで来室されたい。
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	教材費 1000 円を徴収します。アーチェリーは左利きの用具を用意していますが、弓道は全員右で行うことになります。いずれの種目とも屋外で行いますので各自、紫外線対策をして臨んで下さい。天候や射場のコンディションにより、授業の場所や授業計画が変更になることがあります。

他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育柔道 (秋)
科目番号	2215273
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	小俣 幸嗣
授業概要	柔道の文化的特性を理解し、基本的な技術を習得して攻防ができるようにする。柔道を通じて体力を養い、他のスポーツにも応用できるバランス感覚や巧緻性などを習得する。
備考	男女別要素 (接触) 男女別要素 (その他) G 科目 女子は 道着の下に T シャツを着用すること
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。 (1) 受身の方法を理解し、色々な動きの中で安全な倒れかたができる。 (2) 施技の動きを相手との関連で適用できる。 (3) 相手と協力しながら、安全に相互の動きを実施できる。 (4) 技の稽古を通して心身を健康に保つ方法を学び、実践できる。
授業計画	第 1 週既習技の復習 第 2 週腰技、乱取、絞技 第 3 週腰技、乱取、絞技 第 4 週腰技、乱取、絞技 第 5 週背負投、乱取、関節技 第 6 週背負投、乱取、関節技 第 7 週背負投、乱取、関節技 第 8 週連絡技、乱取 第 9 週連絡技、乱取 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	技能 35%、知識・理解 30%、態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等 (連絡先含む)	komatajudo@gmail.com

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	女子は道着の下に T シャツを着用すること
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育水泳 (秋)
科目番号	2217253
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	高木 英樹
授業概要	本学プール施設の特性を活かし、さまざまな水辺活動に取り組む。特に秋学期は、四泳法の習得の他、水球の基本的技術の習得およびルールや発展してきた経緯などに関する知識を身につける。
備考	男女別要素 (ウェア) 男女別要素 (接触) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。 (1) 水中環境の特性を理解し、リラックスして抵抗の少ない姿勢を維持できる。 (2) 仲間と協力しながら、楽しく水球のゲームが実践できる。 (3) 楽に速く泳げる正しい泳法を実践できる。 (4) 生涯スポーツとして水泳に取り組める基礎技能と理論が身についている。
授業計画	第 1 週水球 (水球の歴史、ボールハンドリング、パスゲーム) 第 2 週水球 (パス、基本動作、ラグビー式ゲーム) 第 3 週水球 (ドリブル、パス、ポートボール式ゲーム) 第 4 週水球 (戦術の説明、ゲーム) 第 5 週泳法練習 (クロール) 第 6 週泳法練習 (背泳ぎ) 第 7 週泳法練習 (平泳ぎ) 第 8 週泳法練習 (バタフライ) 第 9 週泳法練習 (スタート、ターン)、授業評価 第 10 週全体講義 (於 大学会館) 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	技能 35%、知識・理解 30%、態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等 (連絡先含む)	takagi.hideki.ga at u.tsukuba.ac.jp <a href="http://www.taiiku.tsukuba.ac.jp/~takagi/">http://www.taiiku.tsukuba.ac.jp/~takagi/</a>
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	

他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育ソフトボール (秋)
科目番号	2221233
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	奈良 隆章
授業概要	ソフトボールの技術構造や戦術について理解を深め、作戦や状況に応じた実戦的な技能を高める。また、チーム練習やリーグ戦を通して仲間との協調性やリーダーシップを身につける。
備考	男女別要素 (特別ルール・ペア/チーム分け) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。
授業計画	第 1 週ダブルプレーの練習、タイムトライアル 第 2 週野手間フライの練習、練習試合 第 3 週ランダウンプレーの練習、リーグ戦 第 4 週チーム練習、リーグ戦 第 5 週チーム練習、リーグ戦 第 6 週シートノック、リーグ戦 第 7 週ケース打撃、リーグ戦 第 8 週チーム練習、リーグ戦 第 9 週チーム練習、プレーオフ 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	技能 35%、知識・理解 30%、態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	1. 丸山克俊, 成美堂出版, わかりやすいソフトボールのルール
オフィスアワー等 (連絡先含む)	
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	ソフトボールはチーム一丸となって勝利を目指す競技です。ソフトボール経験の有無にかかわらず、仲間と協力しながら積極的に活動することを望みます。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント (TA)	

キーワード

コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ



授業科目名	応用体育卓球 (秋)
科目番号	2222253
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	安藤 真太郎
授業概要	スポーツ活動に関する知識の深まりとともに、活動の成果を享受する能力を高める。様々なスポーツシーンに関係する技術を理解した上で、ゲーム・技術練習共に、より多様な形態で実施し、ゲームスポーツに関する自由な発想を育てる。
備考	受講にはインドア用シューズは必携。服装はスポーツウェア。経験者の受講を妨げないが、本科目は初心者を中心とした内容となっている。 実務経験教員 男女別要素 (接触) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。 (1) 卓球の競技特性を理解し、適切な課題解決ができる。 (2) 仲間とコミュニケーションを取り、適切なスポーツ行動ができる。 (3) ラリーを続け、楽しむことができる。 (4) 集団の特徴に応じて、自身の役割を考え、行動に移すことができる。 (5) 卓球を通して心身を健康に保つ方法を学び、実践できる。
授業計画	日本ナショナルチームコーチ経験のある教員が、その経験を踏まえ授業を実施する。 第 1 週打球技術の理解と発展、より進んだ空間的認知を伴うフォアハンド 第 2 週距離的条件を変えたプレー、正確な空間認知と速い動作の両立 第 3 週グリップワークの発展、道具を手で操作するスポーツの理解 第 4 週フットワークの理解と発展、広範囲の移動 第 5 週競技経験者と初級者が一緒に参加するゲームの設定法 第 6 週団体戦ゲーム、個人競技に置ける団体戦形式のあり方に関する理解 第 7 週卓球を利用したスポーツレクリエーションの企画・運営について 第 8 週用具条件への適応 (1) 第 9 週用具条件への適応 (2) 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	技能 35%、知識・理解 30%、態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	

教材・参考文献・配付資料等	1. Japan Table Tennis Association, Table Tennis Coaching Textbook
オフィスアワー等（連絡先含む）	特に定めない。研究室訪問する場合は、あらかじめメール等で連絡を取ること。 ando.shintaro.fu at u.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	受講にはインドア用シューズは必携。服装はスポーツウェア。 経験者の受講を妨げないが、本科目は初心者を重視した内容となっている。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育ダンス (秋)
科目番号	2223273
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	平山 素子
授業概要	「身体を使う・創造する」段階では、様々なジャンルのダンスにチャレンジすることでダンス文化の多様性や、現代性を再認識する。さらに、自らの身体を使ってオリジナルのダンス作品を制作し、身体から発信される多彩な表現世界を楽しむ。
備考	男女別要素 (接触) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	スポーツに関する基礎的知識と技術を習得し、実践できる。 (1) ダンスの多様性や、価値を理解する。 (2) 自らの身体から発信される情報に興味を持つ。 (3) 仲間と協力しながら、楽しく安全に運動を実施できる。
授業計画	「身体を使う・創造する」をキーワードに多様なダンス文化を体験、自らが創造する準備をしていく 第 1 週ボディリセットプログラム 第 2 週マイケル・ジャクソン 「スリラー」を通してダンス文化の流行を体験する 第 3 週バレエ 西洋舞踊文化の体験 第 4 週ストリートダンス 発祥から現在に至る経緯を整理し、自らの身体でリズムを体験する 第 5 週ジャズ 劇場型のダンス文化の体験 第 6 週グループ創作 1 自らテーマを以て身体表現に臨む準備 第 7 週グループ創作 2 他者とのイメージの共有、グループワークのマネジメントを通して作品を作る 第 8 週グループ創作 3 アイデアを巡らせながら、作品を完成形に近づける 第 9 週発表会 実演と鑑賞をセットに、舞踊文化についての知識を深める 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	技能 35%、知識・理解 30%、態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	

教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育トリム運動 (秋)
科目番号	2230273
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	齊藤 まゆみ
授業概要	体育を履修する上で心身のコンディショニングの理由から積極的に身体を動かすことができない学生を対象に開講する。学習内容は健康・体力に興味を持てる態度を形成することを目的とし、受講生のコンディションにあわせた教材を用意したい。秋学期では、春学期の状況を踏まえて発展的に授業内容を検討する。
備考	1 階トリム運動室 実務経験教員 G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。自分の身体への気づきや洞察を深めること。 (1) スポーツ場面での自己のニーズを知り、それにあわせた変更・調整ができる (アダプテッド)。 (2) 仲間と協力しながら課題を解決することができる。
授業計画	授業内容は、以下の通りですが、受講者の体調を考慮して内容を変更することもあります。障害者スポーツ指導員としての専門的スキルをもつ教員が個別のニーズに対応した授業を行います。 第 1 週授業概要の説明:アダプテッド・スポーツについて考える 第 2 週テーブルテニス 1 第 3 週テーブルテニス 2 第 4 週テーブルテニス 3 第 5 週タウンハウス 1 第 6 週タウンハウス 2 第 7 週囲碁ボール 1 第 8 週囲碁ボール 2 第 9 週まとめ ふりかえり 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	1 技能 35% 2 知識・理解 30% 3 態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	

教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等（連絡先含む）	月曜日 11:30～12:00
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	履修者の状況に合わせて柔軟に対応します。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育バスケットボール (秋)
科目番号	2234253
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	大高 敏弘
授業概要	バスケットボールの個人戦術 (相手を打ち破る行為、相手からボールを奪う行為)、グループ戦術 (カットプレイ、スクリーンプレイなど) を習得し、バスケットボールの特性を理解し、グループ戦術を活かしたゲームができるようになる。
備考	男女別要素 (用具) 男女別要素 (接触) 男女別要素 (特別ルール・ペア/チーム分け) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。 (1) バスケットボールの戦術的特性を理解し、ゲームにおいてシュート、パス、ドリブル等の技術、それらを組み合わせた戦術を適切に発揮することができる。 (2) チームメイトと協力して、ゲームプランを構築することができる。 (3) チームメイトと協力して、ゲーム運営 (審判, ゲーム記録等) を積極的にできる。
授業計画	第 1 週春学期の復習、個人戦術を活かした攻防 (ハーフコートゲーム) 第 2 週スペースを活用したグループ戦術 (カットプレイ) の習得、簡易ゲーム 第 3 週スペースを活用したグループ戦術 (スクリーンプレイ) の習得、簡易ゲーム 第 4 週スペースを活用したグループ戦術 (合わせのプレイ) の習得、簡易ゲーム 第 5 週グループ戦術を活かしたゲームプランの構築とゲーム 第 6 週グループ戦術を活かしたゲームプランの構築とゲーム 第 7 週グループ戦術を活かしたゲームプランの構築とゲーム 第 8 週グループ戦術を活かしたゲームプランの構築とゲーム 第 9 週グループ戦術を活かしたゲームプランの構築とゲーム 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	技能 35%、知識・理解 30%、態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等 (連絡先含む)	メールにて連絡すること mail:totaka3558@gmail.com

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ



授業科目名	応用体育バドミントン (秋)
科目番号	2235273
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	吹田 真士
授業概要	バドミントンの習慣を形成し、自らの意志でバドミントンと係わることの楽しさを学ぶ。
備考	男女別要素 (特別ルール・ペア/チーム分け) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。
授業計画	第 1 週バドミントンの科学的原理を学ぶ、バドミントングリップとロブの確認 第 2 週オーバーヘッドストロークの習得 1 第 3 週リードアップ・ゲーム 2 第 4 週オーバーヘッドストロークの習得 2 第 5 週ダブルス・ゲームとその運営 1 第 6 週様々なダブルス・ゲームの鑑賞と実際、複合的課題の習得 第 7 週ダブルス・ゲームとその運営 2 第 8 週審判法、審判記録の解説 第 9 週ダブルス・ゲームとその運営 3・まとめ 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	1 技能 35% 2 知識・理解 30% 3 態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等 (連絡先含む)	オフィスアワー:火曜日 10:30~11:45 E-mail : <a href="mailto:suita.masashi.gn@u.tsukuba.ac.jp">suita.masashi.gn@u.tsukuba.ac.jp</a> ( を@にかえてください)
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント (TA)	

キーワード

コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育ハンドボール (秋)
科目番号	2237253
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	藤本 巳由紀
授業概要	ゲームの理解、グループ・チーム戦術の習得によって、チームの中での個々の役割について考え、チームスポーツを楽しむ能力を養う。
備考	男女別要素 (用具) 男女別要素 (接触) 男女別要素 (特別ルール・ペア/チーム分け) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。 (1) 状況判断を伴う playable の実践 (2) ハンドボールにおける攻撃の基本的な戦術を理解し実践できる。 (3) ハンドボールにおける防御の基本的な約束事を理解し、仲間と組織的に守備を実践する。 (4) 仲間と協力して安全に楽しくゲームを実践できる。
授業計画	第 1 週オリエンテーション、シュート、数的有利の攻撃 (状況判断) 第 2 週 2 人で実践する攻撃、2 人で実践する防御、2 対 2 のミニゲーム 第 3 週 3 人で実践する攻撃、3 人で実践する防御、3 対 3 のミニゲーム 第 4 週攻撃のポジションについて学び、ポジションシュートの実践、ゲーム 第 5 週防御のポジションについて学び効果的な防御を実践する、ゲーム 第 6 週様々な状況を設定したゲーム 第 7 週ゲームの実践 第 8 週ゲームの実践 第 9 週ゲームの実践 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	技能 35%、知識・理解 30%、態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等 (連絡先含む)	特に オフィスアワー は 設 け ない が 必 要 が あ れ ば 、 fuji-moto.miyuki.gf@u.tsukuba.ac.jp に事前の連絡を入れること。

その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ, プレイアブル, 状況判断, グループ戦術

授業科目名	応用体育フィットネストレーニング(秋)
科目番号	2240213
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	谷川 聡
授業概要	心身の健康維持・増進や生活習慣病の予防と運動・体力の関係を理解した上で、レジスタンストレーニング、ジョギング、ストレッチングを豊かなスポーツ文化として日常生活の中で応用することをめざす。
備考	男女別要素(その他) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標(学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。 (1) 無酸素運動/有酸素運動の理解と実践 (2) 個々のトレーニング効果の主観的/客観的指標づくり (3) 個々の合目的的トレーニングの作成
授業計画	第1週 パーソナルトレーニングの目的と計画 第2週 パーソナルトレーニングの立案 第3週 パーソナルトレーニングの実践(有酸素トレーニング) 第4週 パーソナルトレーニングの実践(無酸素トレーニング) 第5週 パーソナルトレーニングの見直しと実践 第6週 パーソナルトレーニングと日常生活 第7週 パーソナルトレーニングの修正 第8週 パーソナルトレーニングのまとめ 第9週 予備日 第10週 パーソナルトレーニングの自己評価 第11週 講義
履修条件	
成績評価方法	1 技能 35% 2 知識・理解 30% 3 態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	板書、配布資料
オフィスアワー等(連絡先含む)	
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	ジャージや運動靴、室内シューズを用いること(ジーパンや革靴は不可)

他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ

授業科目名	応用体育野外運動 (秋)
科目番号	2245213
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	坂本 昭裕
授業概要	秋学期は、天久保池において、カナディアンカヌーを実践する。学習目標は、春学期と同様であるが、秋学期においては、特に、グループにおける課題解決に焦点をあてる。カナディアンカヌーの学習は、各グループ毎に相互学習の形式で進め、練習の立案、カヌーの実践、振り返りを通して学習する。
備考	男女別要素 (接触) 男女別要素 (特別ルール・ペア/チーム分け) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	5. 心身の健康と人間性・倫理性に関連する 6. 協働性・主体性・自律性に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。 1) カナディアンカヌーの特性を理解し適切に実践することができる。 2) カナディアンカヌーの練習計画を立案することができる。 3) グループにおいて仲間をウォッチするなど安全に実践ができる。 4) カナディアンカヌー実践について、改善点を見つけ、修正に取り組むことができる。 5) カナディアンカヌーを通して課題解決の方法を学び、日常の他の事柄に生かすことができる。
授業計画	第 1 週授業運営方法の説明 第 2 週カヌー (1):カヌーの名称・パドルの使い方・ライフジャケットの着方・乗船の方法を理解する 第 3 週カヌー (2):フォワードストローク・バックストローク・カヌーの直進を理解する・リレー対抗戦 1 第 4 週カヌー (3):スウィープストローク・ターンの方法を理解する・リレー対抗戦 2 第 5 週カヌー (4):J ストローク・パウとスターンの役割・効果的な舵取りの理解・リレー対抗戦 3 第 6 週カヌー (5):平行移動の方法・スカーリング・リレー対抗戦 4 第 7 週カヌー (6):スタートの方法・効果的なフォワードストローク・リレー対抗戦 5 第 8 週カヌー (7):カヌーによる連続スラロームターン・リレー Cup 戦 第 9 週まとめ・カヌークリーンアップ 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	1 技能 35% 2 知識・理解 30% 3 態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	

教材・参考文献・配付資料等	1. Outddor 編集部 (編) 山と溪谷社, カヌ-入門 - カナディアン・カヌ-とフォルディング・カヤックの基礎&実践テクニック
オフィスアワー等 (連絡先含む)	月曜日 15:00 ~ 17:00
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	主体的に学び、考え、行動して下さい。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント (TA)	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ, 調べ学習, 課題解決



授業科目名	応用体育トラック&フィールド (秋)
科目番号	2252273
単位数	0.5 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋 AB 木 3
担当教員	榎本 靖士
授業概要	陸上競技の走、跳、投の基礎的運動を学習するとともに、陸上競技のパフォーマンスを競う楽しみを味わう。さらに、身体を意図的に、効果的に動かせるよう工夫できるようになり、身体知を高められる。
備考	男女別要素 (接触) 男女別要素 (特別ルール・ペア/チーム分け) G 科目
授業形態	実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	「5. 心身の健康と人間性・倫理性」に関連する 「6. 協働性・主体性・自律性」に関連する
授業の到達目標 (学修成果)	運動習慣を定着させ、スポーツ文化に対する理解を深める。
授業計画	第 1 週春学期の復習と基礎運動テスト 第 2 週走り幅跳びの技術 第 3 週走り高跳びの踏切技術 第 4 週走り高跳びのクリアランス技術 第 5 週棒高跳びの基礎 第 6 週砲丸投げの技術 第 7 週円盤投げの技術 第 8 週やり投げの技術 第 9 週混成競技会 第 10 週講義 第 11 週予備日
履修条件	
成績評価方法	1 技能 35% 2 知識・理解 30% 3 態度・意欲 35%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	
教材・参考文献・配付資料等	
オフィスアワー等 (連絡先含む)	水曜日 11:30~12:00 体育科学系 A 棟 A603 2669
その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	

他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	コミュニケーション, 運動習慣, スポーツ文化, 倫理観, スポーツマンシップ